《花輪》2005年 ミクストメディア

淀川テクニック
YODOGAWA TECHNIQUE

ゴミニケーション in熊本!!

《just hanging No.6》2014年 ミクストメディア

熊本市現代美術館では、ギャラリーⅢの109回目の企画として「淀川テクニック　ゴミニケーションin熊本!!」展を開催します。柴田英昭（1976年 岡山県出身）と松永和也（1977年 熊本県出身）により2003年に結成された淀川テクニックは、大阪・淀川を活動拠点に、落ちているゴミや漂流物、廃材を使った作品を制作してきました。現在はさらに活動の場を広げ、国内外各地に赴き、その土地に根差した作品を制作し、その独創的な作品は小中学校の美術の教科書でも紹介されています。

彼らが制作のなかで重視しているのが「ゴミニケーション」。淀川テクニックによる造語です。彼らはゴミを拾い、作品作りをする過程で、地元の人々と交流し様々なヒントを得ながら制作を進めます。捨てられることで一度はモノとしての役割を終え、命がなくなったゴミですが、淀川テクニックは、その色と形に着目して全く異なる視点でゴミを捉え直し、さらにはゴミニケーションによって、血の通った活き活きとした造形物へとゴミを変貌させます。これらの作品では、その土地の生活の匂い、人々の息遣いまでが浮き彫りにされています。淀川テクニックの作品にヴィヴィッドで遊び心あふれる水生、陸生動物が多いのも、命を失ったゴミに再び生命を与えたいという彼らの願いが込められているからだといえるでしょう。

本展では、初期の代表作から熊本のゴミを用いた新作までを紹介する美術館での作品展示に加え、ゴミを集めた野外での公開制作やワークショップなどのアートプロジェクトも開催します。淀川テクニックのゴミニケーションによって、熊本がどのように表現されるのか、美術館の内と外で繰り広げられる彼らの創造的活動にぜひ触れていただければと思います。

（熊本市現代美術館主任学芸員　芦田彩葵）

関連イベント

1 | アーティスト・トーク

日時：2月27日（土）14:00-15:30
場所：ホームギャラリー
入場無料
作家が本展やこれまでの活動について語ります。

2 | ワークショップ「ゴミから何ができるかな？」

日時：5月5日（木・祝）13:30-17:00
場所：びぷれす広場（美術館屋外）
参加費：無料
対象：子どもから大人まで
作家によるスライド・トーク後に、ゴミや不要になった物を材料にした作品づくりを行います。

詳細は熊本市現代美術館ホームページをご覧ください。
http://www.camk.or.jp/

淀川テクニック

柴田英昭（1976年 岡山県生まれ）と松永和也（1977年 熊本県生まれ）により、2003年に結成されたアート・ユニット

●主な個展
2004年「ゴミ淀川産展」淀川区民ギャラリー、大阪／2006年「アートのジゴロ」海月文庫、大阪／2008年「ダイアモンドダスト」ユカリアート・コンテンポラリー、東京／2012年「はやくゴミになりたい」ART ZONE、京都／2013年「無人島のゴミをアートが喰らう！？」展、鞆の津ミュージアム、広島

●主なグループ展
2006年「釜山ビエンナーレ」韓国／2010年「瀬戸内国際芸術祭2010」瀬戸内海の7つの海＋高松、香川、岡山／2011年「Haut. Mythos und Medium」、クンストハウスハンブルグ、ドイツ／2014年「ノスタルジー＆ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」国立国際美術館、大阪／2015年「高野山開創1200年特別企画展　空海の地で会う日・韓現代美術『いのちの交響』」高野山金剛峰寺、別殿・奥殿／開創1200年ギャラリー、和歌山

●その他
2005年「キリンアートプロジェクト」グランプリ受賞／2009年「咲くやこの花賞」受賞
中学生向けの教科書『中学美術』（日本文教出版）や、小学校低学年向けの教科書『ずがこうさく1・2』（開隆堂出版）に活動や作品が紹介される。また創刊40周年となる『月刊廃棄物』の表紙を2015年度の1年間飾る。

ゴミが大変身！アートに

淀川テクニック
Yodogawa Technique

花畑広場で公開制作！

2月22日（月）―― 26日（金）
（熊本市中央区花畑町7－10）

Courtesy : the artists and Yukari Art

CAMK 熊本市現代美術館
Contemporary Art Museum, Kumamoto
〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぷれす熊日会館3階
電話 096-278-7500 FAX 096-259-7892 www.camk.or.jp